

たくさん子ども達との出会いが活力に！

アサザプロジェクトには、現在霞ヶ浦流域の大半の小学校（160校）が参加しています。これらの学校では、いま霞ヶ浦の再生に向けた様々な学習や取り組みが活発に行われています。アサザ基金が講師を派遣する出前授業も、ビオトープづくりも、ほとんど毎日どこかの小学校で行われています。都市部の学校、農村部の学校、湖に面した学校、湖から遠く離れた学校などなど、学校の置かれた環境も様々ですが、共通点はその学校に行っても子ども達の個性があふれていることです。

出前授業では子ども達との活発なやり取りで1時限40分間はあっという間に過ぎてしまい、次々とする質問に答えているうちに休み時間に突入してしまうこともしばしばです。アサザプロジェクトが大規模な取り組みになるにつれて、事務局も大忙しの状況が続いています。仕事の量も増えてきて少々疲れ気味なときも、授業に行って子ども達のきらきら輝く瞳を見ると元気になってしまうから不思議です。

アサザプロジェクトが発展していくためには、最先端の科学研究と学校で行っている出前授業が一体感をもって進められている今の状態は理想に近いものだと思います。子ども達とおとな達が、夢を共有する。たくさん子ども達と創造の現場を共にしていくことが、アサザプロジェクトの100年計画を実現するための確かな道と信じています。

2001年6月30日

NPO法人アサザ基金 代表理事 飯島 博